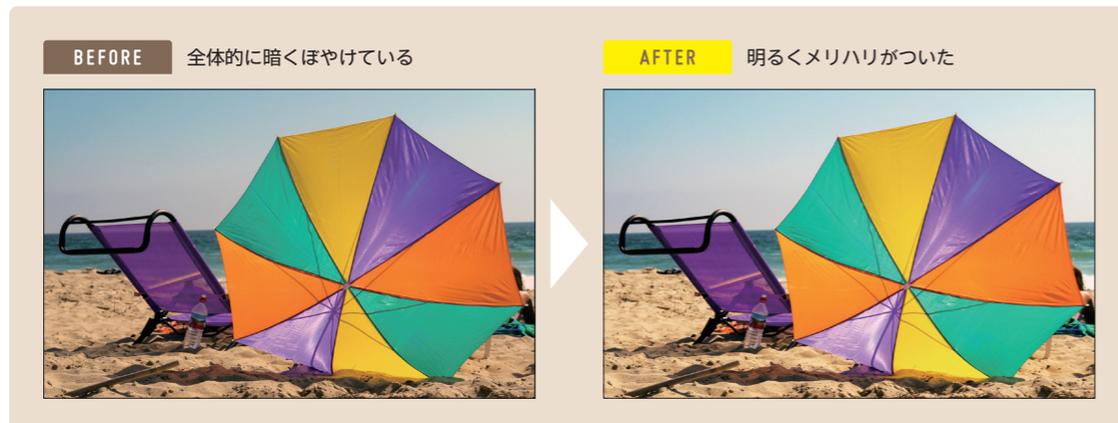


明るさやコントラストを調整しよう

[明るさ・コントラスト] は、画像の明るさやコントラストを調整する色調補正です。ここでは、調整レイヤーの補正前と補正後の比較、やり直し、削除などの操作も確認しましょう。

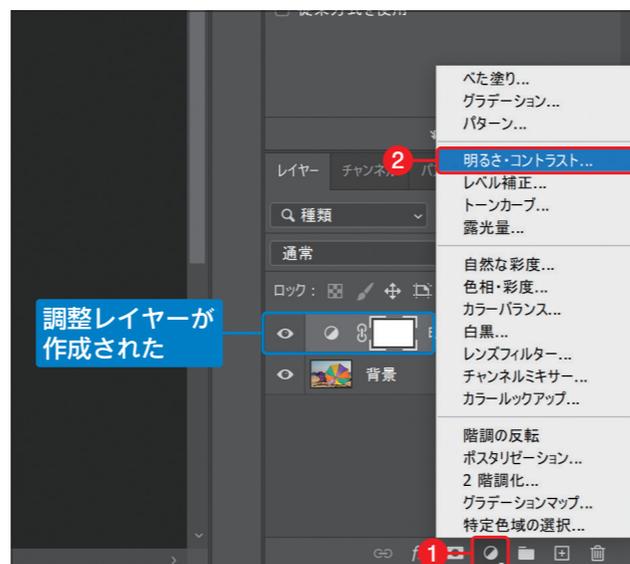


明るさやコントラストを調整する

- 調整レイヤーを作成するには、[レイヤー] パネル下部の [塗りつぶしまたは調整レイヤーを新規作成] をクリックし①、表示される一覧から、[明るさ・コントラスト] をクリックすると②、調整レイヤー [明るさ・コントラスト] が作成されます。

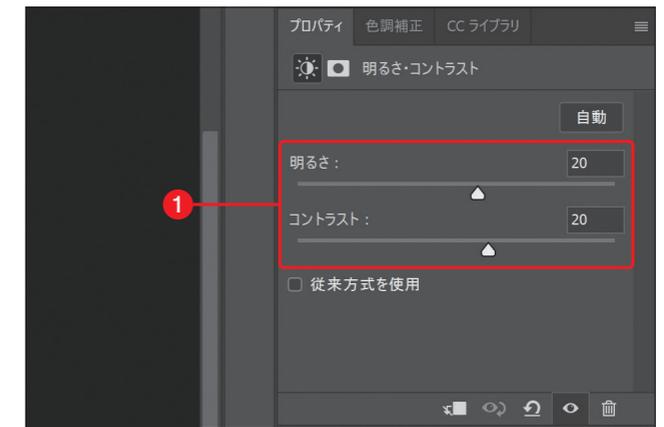
💡 レイヤーに関する操作はメニューバーから行えますが、本書では、基本的に [レイヤー] パネルを使って行います。

💡 [色調補正] パネルの [明るさ・コントラスト] アイコン をクリックしても、調整レイヤーを作成できます。



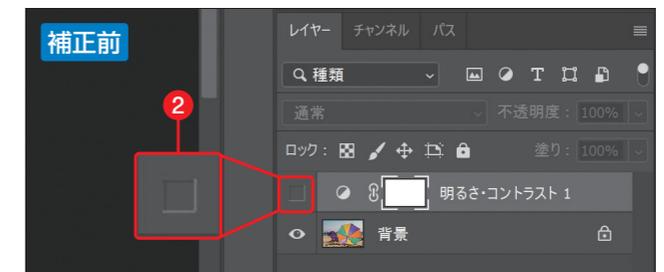
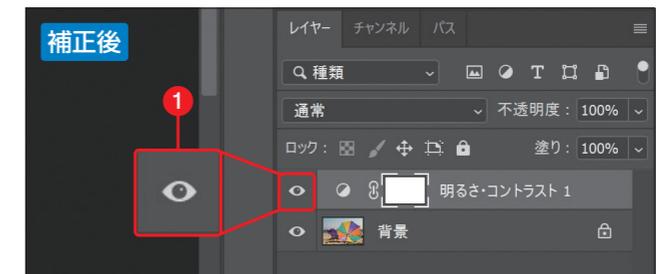
- [プロパティ] パネルには、選択した補正方法に関する設定が表示されます。画像に応じて適切な設定を行います①。

明るさ	20
コントラスト	20

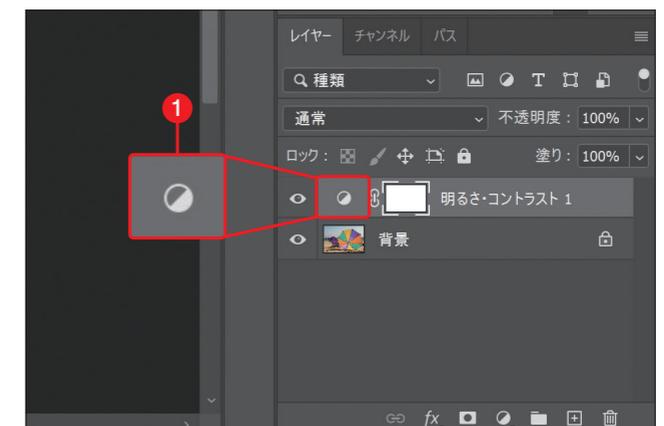


- 調整レイヤー左横の [目隠し] マークをクリックすると①、補正前 (非表示) の状態に切り替えることができます。[目隠し] をクリックすると②、補正後 (表示) の状態に切り替えることができます。

💡 ここでは、明るさとコントラストを強めることで、明るく日差しが強いビーチを表現しました。



- 補正後に [プロパティ] パネルを閉じていても、補正の設定を管理している調整レイヤーの左のサムネイル [目隠し] をダブルクリックすると①、[プロパティ] パネルを再表示して、設定を変更できます。



レベル補正で明暗を調整しよう

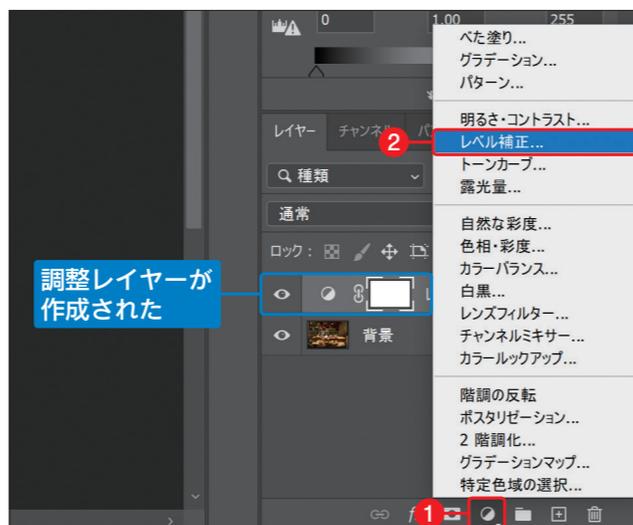
[レベル補正] は、ヒストグラムと呼ばれるグラフを使った色調補正です。シャドウ・ハイライト・中間調の3つのスライダーを使って、画像の明暗や色味を調整できます。



明るくしてすっきりした印象にする

- [レイヤー] パネル下部の [塗りつぶした調整レイヤーを新規作成] をクリックし ①、表示される一覧から、[レベル補正] をクリックすると ②、調整レイヤー [レベル補正] が作成されます。

① [色調補正] パネルの [レベル補正] アイコン をクリックしても、調整レイヤーを作成できます。



- [プロパティ] パネルが手前に表示されます。今回は、ヒストグラムの山がシャドウ側 (70ページ参照) に偏っているため、ハイライトのスライダー を左にドラッグして ①、ハイライト (画像内の最も明るい所) を調整します。

ハイライト	200
-------	-----

① まず最初に、暗めの画像の場合はハイライト を、明るめの画像の場合はシャドウ を調整します。

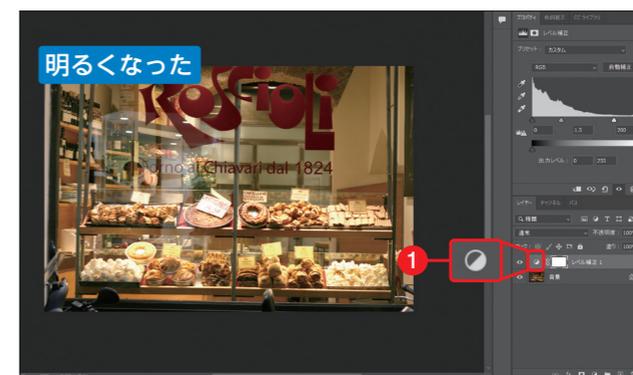
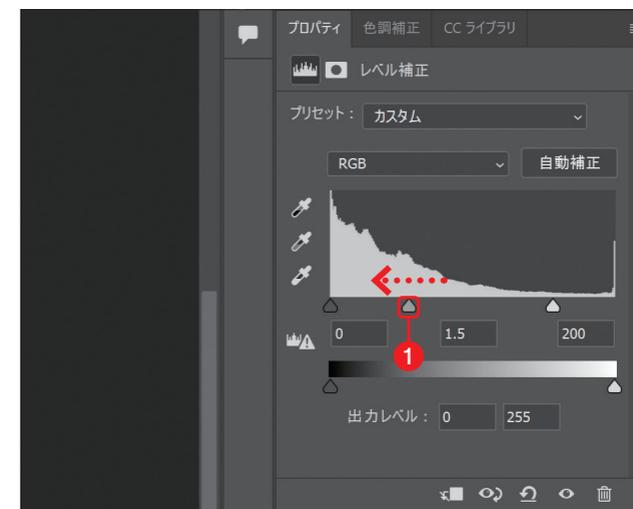
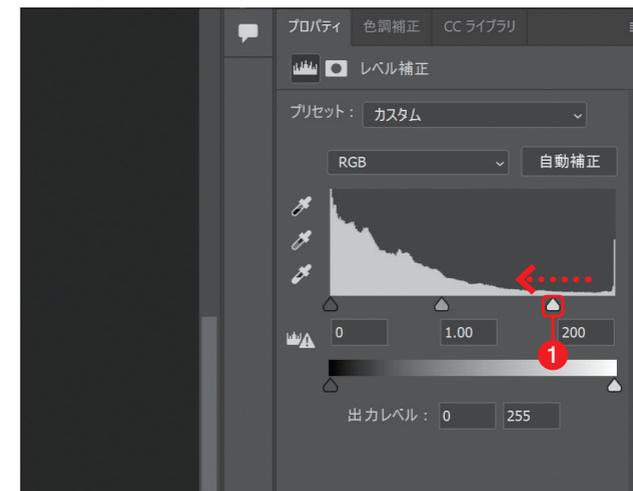
- 中間調のスライダー を左右にドラッグして ①、全体の明るさを整えます。ここでは左にドラッグして明るくします。

中間調	1.5
-----	-----

① 中間調は、画像の全体的な明るさを調整するものです。左にドラッグすると明るく、右にドラッグすると暗くなります。

- 明るくすっきりした印象になりました。補正後に [プロパティ] パネルを閉じていても、調整レイヤーの左のサムネール をダブルクリックして ①、再表示し、設定値を変更できます。

① [プロパティ] パネルの [自動補正] をクリックすると、手軽に自動補正できます。あくまで自動の機能なので、すべての画像で好みの仕上がりにとは限りませんが、試してみるとかたんに美しく仕上がる場合があります。



トーンカーブで明暗を調整しよう

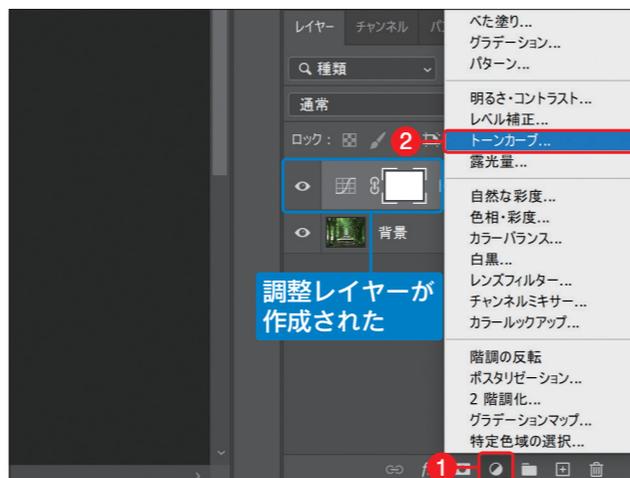
[トーンカーブ] は、カーブを使った色調補正で、画像の明暗や色味を調整できます。任意の箇所にポイントを追加してカーブを作り、画像を補正します。



明るさを調整する

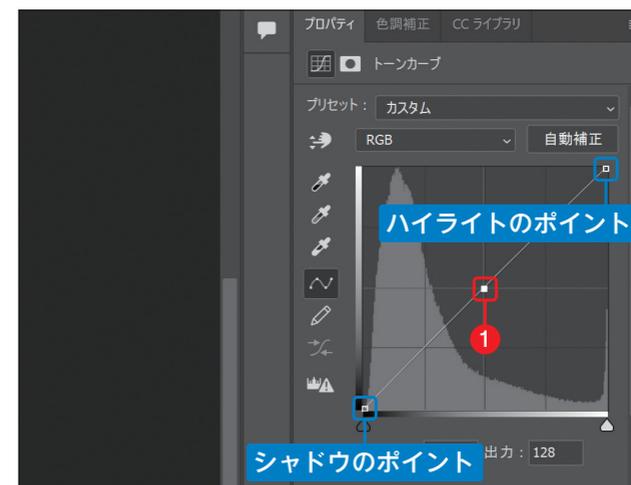
- [レイヤー] パネル下部の [塗りつぶすまたは調整レイヤーを新規作成] ボタン をクリックし ①、表示される一覧から、[トーンカーブ] をクリックすると ②、調整レイヤー [トーンカーブ] が作成されます。

💡 [色調補正] パネルの [トーンカーブ] アイコン をクリックしても、調整レイヤーを作成できます。



- [プロパティ] パネルが手前に表示されます。ここでは、明るく爽やかな印象にします。中間調 (斜線の中心付近) をクリックして ①、ポイントを追加します。

💡 シャドウとハイライトのポイントは、最初から用意されていますが、3つ目以降はクリックして追加します。削除するには、ポイントを選択し、[Delete] を押します。



- 追加したポイントを上にドラッグし ①、明るくします。ここでは、補正前 (入力) のポイント: 128が補正後 (出力) のポイント: 192となり、ハイライト255に近づいたことで明るく補正されます。

💡 カーブと連動して、入力と出力の値は変わります。数値ボックスに数値を入力してカーブを作ることもできます。



- 明るく爽やかな印象になりました。

💡 カーブの傾斜を大きくするほど、補正の度合いは強くなります (74ページ参照)。

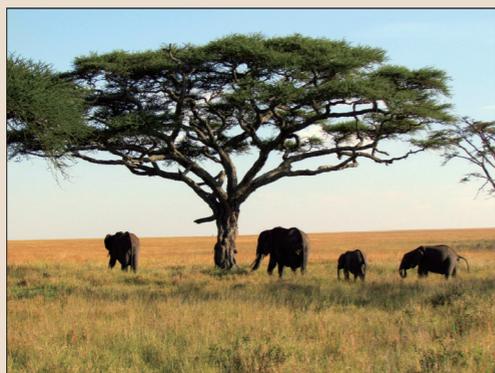


白と黒の2階調にしよう

[2階調化] は、白と黒の2色に変換する色調補正です。

[しきい値] により白と黒のバランスを調整して画像を単純化し、漫画風に仕上げます。

BEFORE 普通のカラー写真



AFTER 単純化され、漫画風になった



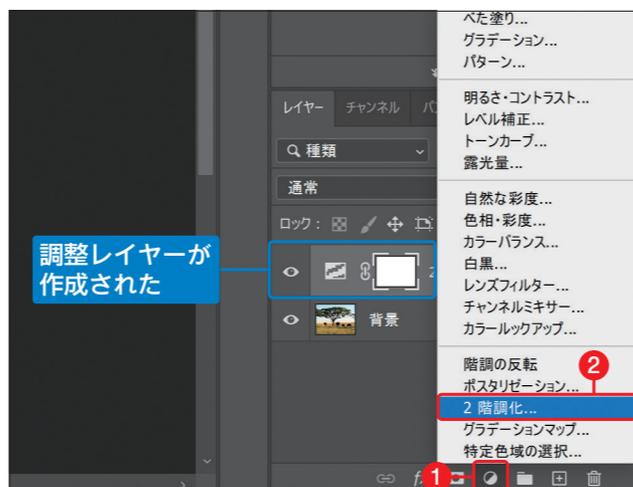
2階調化で漫画風にする

1

[レイヤー] パネル下部の [塗りつぶしまたは調整レイヤーを新規作成] をクリックし①、表示される一覧から、[2階調化] をクリックすると②、調整レイヤー [2階調化] が作成されます。



[色調補正] パネルの [2階調化] アイコンをクリックしても、調整レイヤーを作成できます。



2

[プロパティ] パネルで [しきい値] のスライダーをドラッグし①、白黒のバランスを調整します。ここでは、しきい値を「128」にします。数値ボックスに数値を入力できます。

しきい値	128
------	-----



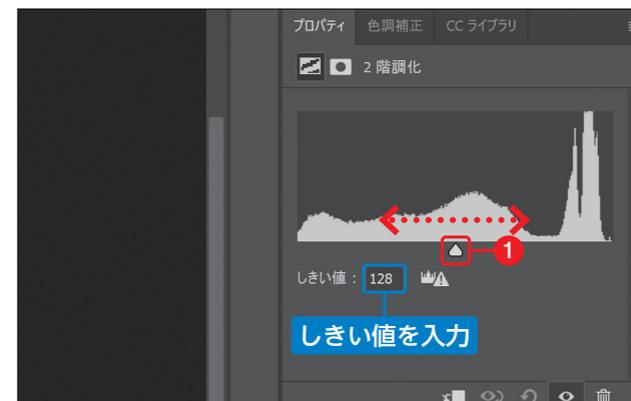
しきい値とは、白と黒を区別する値で、1～255 (1ですべて白、255ですべて黒) の数値で指定します。表示されるヒストグラム (70ページ) の横軸は、明るさの段階を表し、スライダーを左に動かすと白が増え、右に動かすと黒が増えます。しきい値より明るいピクセル (16ページ) はすべて白に、しきい値より暗いピクセルはすべて黒に変換されます。

3

画像が白と黒の2階調になり、単純化され、漫画風になりました。



[プロパティ] パネルには、画像のヒストグラム (70ページ参照) が表示されます。しきい値の右横に、【詳細なヒストグラムを計算】を示すマーク  が表示された場合、マークをクリックすると、正確なヒストグラムを表示します。



2階調になった



2階調化のコツ

サンプルでは、象と背景のコントラストが強い画像を2階調化したので、比較的きれいに象の部分を取り出せました。2階調化する前に、レベル補正 (68ページ参照) やトーンカーブ (72ページ参照) などで明暗の調整をしてコントラストを強めておくと、2階調化の結果が良好となる場合があります。



3

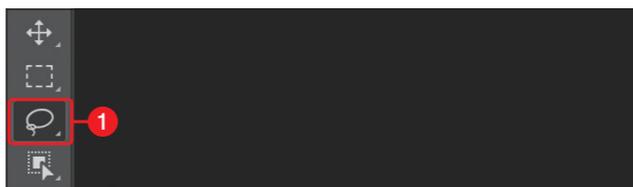
色や明るさを調整しよう

フリーハンドで おおまかな選択範囲を作成しよう

[なげなわ] ツールを使えば、フリーハンドでおおまかな選択範囲を作ることができます。
その他の方法と組み合わせて、複雑な形の選択範囲を作ることができます。

なげなわツールでおおまかな選択範囲を作成する

- 1 ツールパネルから[なげなわ]ツールをクリックします①。オプションバーの設定は、初期設定でかまいません。



アンチエイリアスとは、選択範囲のギザギザのエッジピクセルを滑らかにし、背景ピクセルとなじませる処理のことです。[なげなわ] ツール、[多角形選択] ツール、[マグネット選択] ツール、[楕円形選択] ツール、[自動選択] ツールのオプションバーで使用できます。



- 2 ドラッグして①、選択範囲を作成します。ドラッグ中は、マウスポインターの動いた形に線が引かれるような表示になります。



ドラッグ中に、[Alt] ([option]) を押したままにすると、一時的に[多角形選択] ツール(104ページ参照)に切り替えられます。キーから指を放すと、[なげなわ] ツールに戻ります。



- 3 マウスボタンから指を放すと、破線で囲まれた選択範囲ができます。

ドラッグの途中でマウスボタンから指を放すと、放した時点で終了となり、選択範囲が作成されます。やり直したい場合は、一度選択を解除しましょう(98ページ参照)。



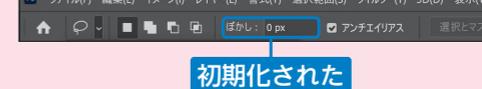
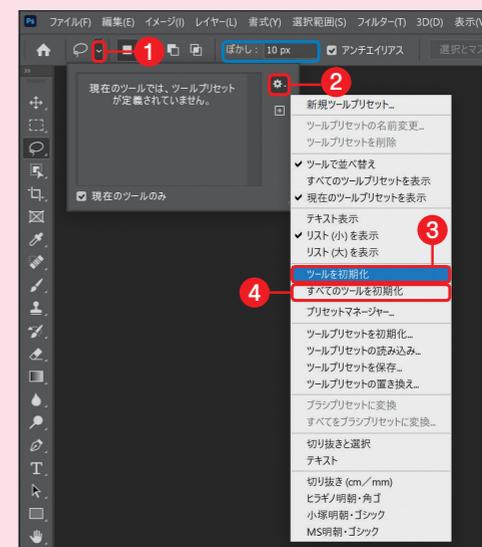
選択範囲の追加

選択範囲を追加したいときは、[Shift] を押しながらドラッグします。オプションバーの設定を[選択範囲に追加] に切り替えてドラッグしても追加できます。



ツールを初期化する

ツールのオプションバーの設定は、初期化できます。新たな作業をするとき、前の設定を誤って適用しないように、オプションバーの設定を初期化するとよいでしょう。初期化するには、ツールのオプションバーの [] をクリックし①、表示されるツールプリセットピッカーの [] をクリックして②、メニューから[ツールを初期化] をクリックすると③、設定がリセットされ、初期状態になります。右図の例では、[なげなわ] ツールのオプションバーの [] の設定を初期化しました。また、[すべてのツールを初期化] をクリックすると④、ほかのツールのオプションバーの設定も、一度で初期化できます。なお、ツールの初期化の機能は、ほかのツールでも同様にあります。ツールごとに初期化したい場合は、ツールを選択し直して、それぞれのオプションバーから初期化するようにしましょう。

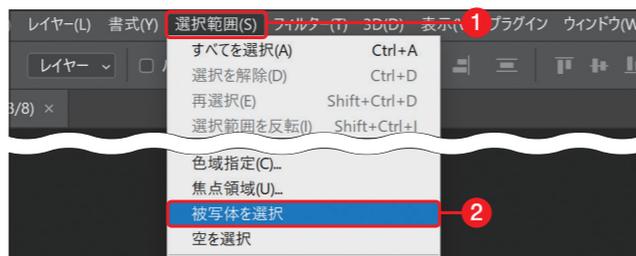


被写体を自動的に選択しよう

[被写体を選択] コマンドを使うと、画像内の被写体を自動検知して、選択範囲を作成できます。

被写体を自動的に選択する

- 1 メニューバーの[選択範囲]をクリックし①、[被写体を選択]をクリックします②。



- 2 被写体を選択できました。



☰ [被写体を選択]の機能だけでは、意図する選択範囲を作成できない場合、クイックマスク(118ページ参照)の機能を組み合わせて調整し、選択範囲を整えましょう。



オプションバーの被写体を選択

[オブジェクト選択] ツール、[クイック選択] ツール、[自動選択] ツールなどの自動系の選択ツールのオプションバーに、ここで紹介した [被写体を選択] と同様の機能があります。

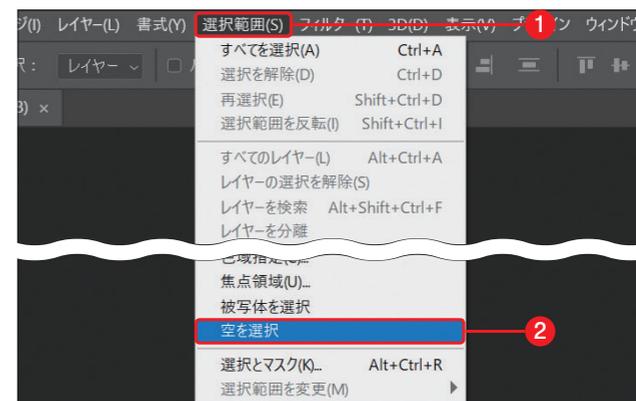


空を自動的に選択しよう

[空を選択] コマンドを使うと、画像内の空を自動検知して、選択範囲を作成できます。

空を自動的に選択する

- 1 メニューバーの[選択範囲]をクリックし①、[空を選択]をクリックします②。



- 2 空を選択できました。



☰ [空を選択]の機能だけでは、意図する選択範囲を作成できない場合、クイックマスク(118ページ参照)の機能を組み合わせて調整し、選択範囲を整えましょう。



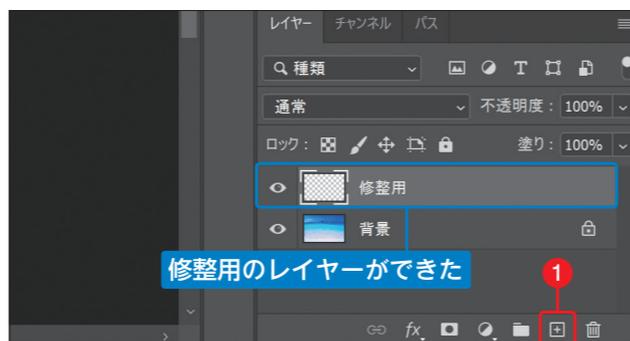
大ぶりの不要物を消そう

大ぶりなものは、[パッチ]ツールで囲んで手軽に消せます。
[コンテンツに応じる]機能により、自然に消去できます。



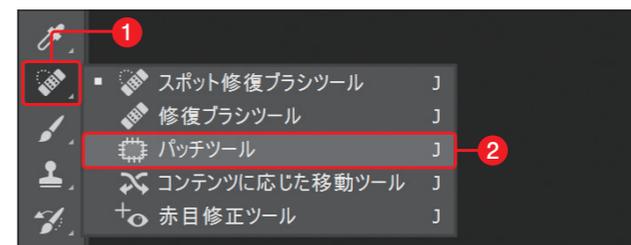
パッチツールで大ぶりな不要物を消す

- 1 **[Alt] ([option])** を押しながら [レイヤー] パネル下部の [新規レイヤーを作成] をクリックし①、表示される [新規レイヤー] ダイアログボックスでレイヤー名 (ここでは「修復用」) を入力し②、[OK] をクリックすると③、修復用のレイヤーができます。以降は、このレイヤー上で作業します。また、作業しやすいように、不要物付近を拡大して (34ページ参照)、よく見えるようにしておきます。



[Alt] ([option]) を押しと、作成と同時にダイアログボックスを表示させることができます。レイヤー名も付けられるので効率的です。

- 2 ツールパネルの [スポット修復ブラシ] ツールを長押しし①、[パッチ] ツールをクリックします②。



- 3 オプションバーの [パッチ] で [コンテンツに応じる] を選択し①、[全レイヤーを対象] をクリックしてチェックを入れます②。

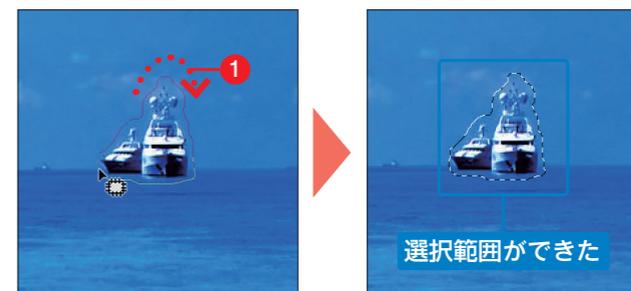


[コンテンツに応じる] は、周辺領域のコンテンツ (情報) を合成して自然に修整する機能です。Photoshopにはほかにも、[コンテンツに応じる] がオプションで組み込まれている機能がいくつかあります。

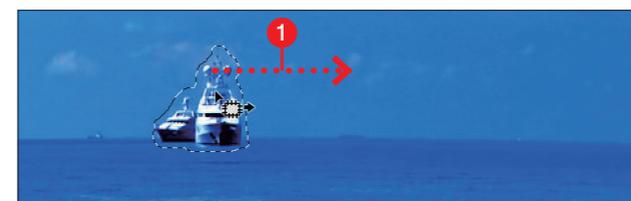


[全レイヤーを対象] にチェックを入れると、サンプルの取得先として全レイヤーが対象になります。

- 4 不要物の周りを丁寧にドラッグして①、囲みます。マウスから指を放すと、選択範囲が作成され (94ページ参照)、消去の対象となります。

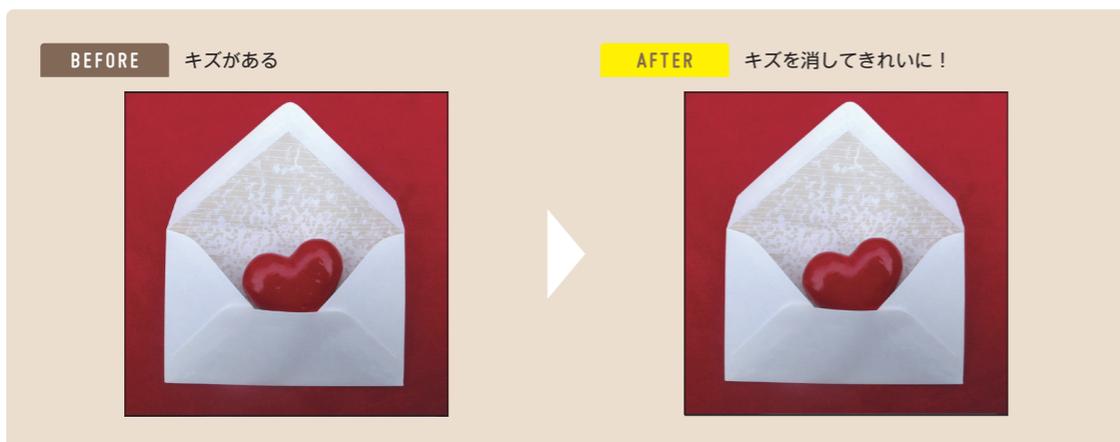


- 5 選択範囲内にマウスポインターを合わせ、周辺のきれいな領域に向かってドラッグ&ドロップします①。メニューバーの [選択範囲] から [選択を解除] をクリックして選択を解除し (98ページ参照)、仕上がりを確認します。
[レイヤー] パネルの背景レイヤーを非表示にして、「修復用」レイヤーを見てみましょう。消去の際にサンプルとして使われたドロップ先の情報があることがわかります。



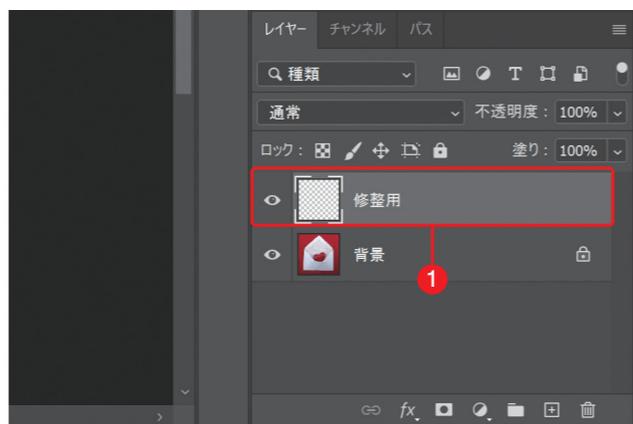
細かいキズを消そう

細い粒状の不要物は、[コピースタンプ]ツールで取得したサンプルを使って消去できます。使い方が似ている[修復ブラシ]ツールは、周辺ピクセルとなじませる機能があります。



コピースタンプツールで細かいキズを消す

- 1 126ページを参考に、修整用のレイヤーを作成します①。以降は、このレイヤー上で作業します。また、作業しやすいように、不要物付近を拡大して、よく見えるようにしておきます。



- 2 ツールパネルの[コピースタンプ]ツールをクリックします①。オプションバーの▼をクリックして②、ブラシの設定をし③、[サンプル]で[現在のレイヤー以下]を選択します④。

ブラシの種類	ソフト円ブラシ
直径	30px
硬さ	0%
サンプル	現在のレイヤー以下

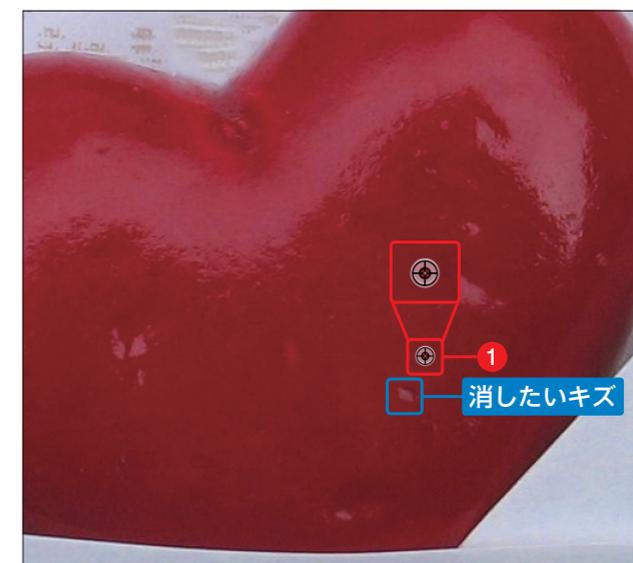


💡 ソフト円ブラシを使うと、使用したサンプルの境界がぼけるため、自然な仕上がりになります。[修復ブラシ]ツールを使った場合の仕上がりに近くなります。

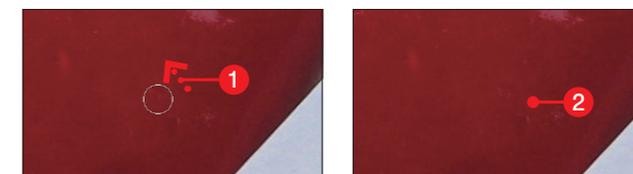
💡 ここでは、[サンプル]で[すべてのレイヤー]を選択しても、「修整用」レイヤーより上にレイヤーがないため、結果は同じになります。

- 3 キズの近辺のきれいな領域を[Alt]([option])を押しながらクリックし①、サンプルを取得します。取得後、キーから指を放します。

💡 消したいキズが隠れる程度のサイズにすると、ワンクリックで消せます。何度もドラッグすると汚くなるので、手順を少なくすることがポイントです。

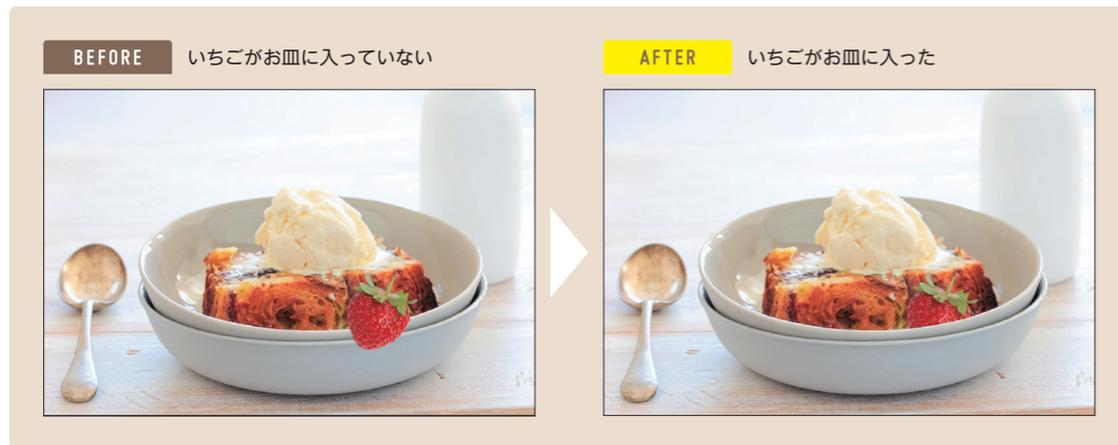


- 4 マウスポインターが○に変わるので、キズの上まで移動し①、クリックすると②、キズが消えます。以降は必要に応じてサンプルを取得し直し、その他のキズを消します。



画像の一部を隠して 自然に合成しよう

レイヤーマスクは、グレースケール(白・黒・グレー)で編集すると、
画像の一部を見せたり隠したりすることができます。



2つの画像を重ねる

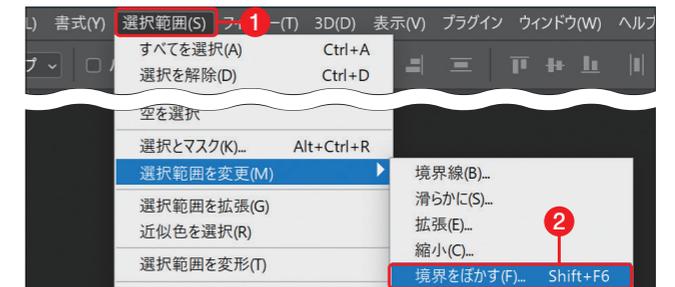
- いちごの画像を開きます。[オブジェクト選択] ツール(106ページ参照)や[被写体を選択] コマンド(114ページ参照)を使って、いちごの選択範囲を作成します。



- メニューバーの[選択範囲]をクリックし①、[選択範囲を変更]→[境界をぼかす]をクリックします②。[境界をぼかす]ダイアログボックスの[ぼかしの半径]に数値(ここでは「1」)を入力し③、[OK]をクリックします④。



作成した選択範囲の境界線をわずかにぼかすことで、コピー&ペーストした際に、より自然な仕上がりになります。



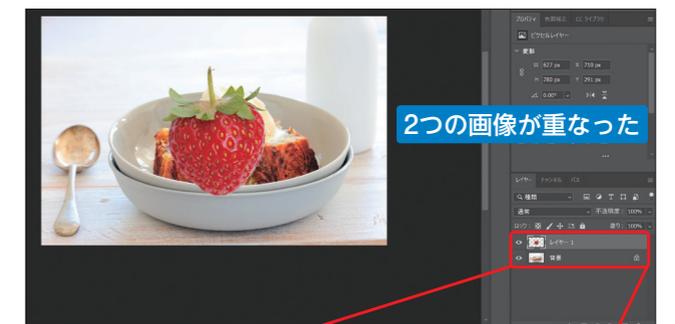
- メニューバーの[編集]メニューをクリックし①、[コピー] ((Ctrl) ((command)) + (C)) をクリックして②、選択範囲をコピーします。コピー後は、いちごの画像を閉じてかまいません。



- トーストの画像を開きます。メニューバーの[編集]をクリックし①、[ペースト] ((Ctrl) ((command)) + (V)) をクリックして②、選択範囲をペーストします。



- トーストの画像の上に、いちごの画像を重ねることができました。[レイヤー] パネルを確認すると、ベースとなるトーストの画像が背景レイヤーにあたり、コピー&ペーストしたいちごの画像が、[レイヤー1]として重なっています。

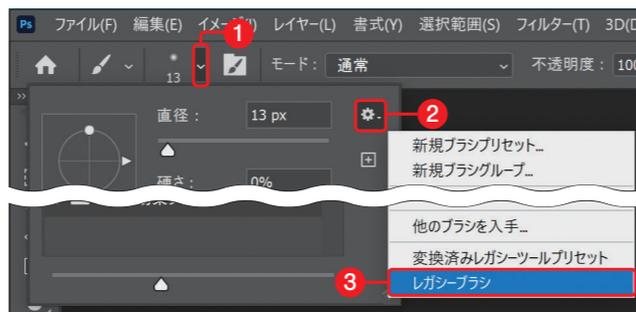


ブラシをカスタマイズしよう

基本的なブラシの使い方をマスターしたら、ブラシの詳細設定をして、カスタマイズしてみましょう。
ブラシを[ブラシ設定]パネルでカスタマイズし、保存して活用できます。

もともとなるブラシを選択する

- 1 [ブラシ]ツール(212ページ参照)を選択し、オプションバーの▼をクリックして①、ブラシプリセットピッカーを表示します。⚙️をクリックし②、メニューから[レガシーブラシ]をクリックします③。



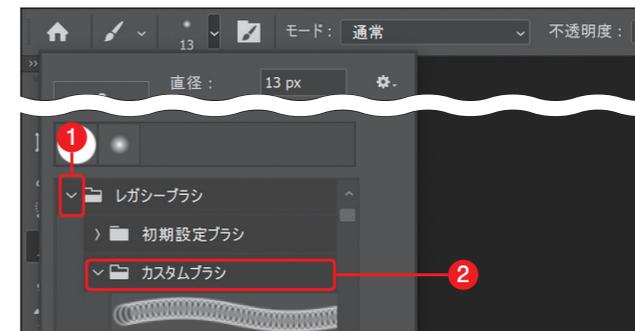
- 2 ダイアログボックスが表示されたら、[OK]をクリックし①、現在のブラシに追加します。



💡 [レガシーブラシ]とは、旧バージョンで使われていたブラシのライブラリのことです。使用したい場合は[レガシーブラシ]を読み込みます。

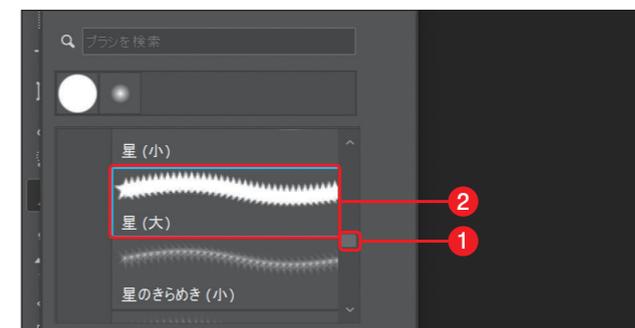


- 3 追加した[レガシーブラシ]の▼をクリックし①、使用したいブラシグループ(ここでは[カスタムブラシ])の▼をクリックします②。



- 4 プリセットのリストをスクロールして①、目的のブラシをクリックします②。

ブラシの種類 星(大)



ブラシ設定パネルで詳細な設定をする

- 1 [ブラシ]ツールのオプションバーの☑️をクリックし①、[ブラシ設定]パネルを表示すると、選択中のブラシの詳細が表示されます。最初に見える[ブラシ先端のシェイプ]では、ブラシの基本的な設定が表示されます。

